

### 3 従業者数

#### (1) 概況

平成19年の従業者数は75,857人で、前年に比べ5,378人増加（前年比7.6%増）した。

(表6)

#### (2) 業種別状況

前年に比べ増加したのは電気機器、一般機械等14業種、減少が金属製品、衣服等10業種であった。

また、業種別構成では、電気機器(13.1%)、電子部品(12.2%)、食料品(11.7%)、一般機械(10.5%)、輸送機器(9.9%)、の順に大きく、これらの5業種で全体の半数強(57.4%)を占めている。

(表6、図7、図8)

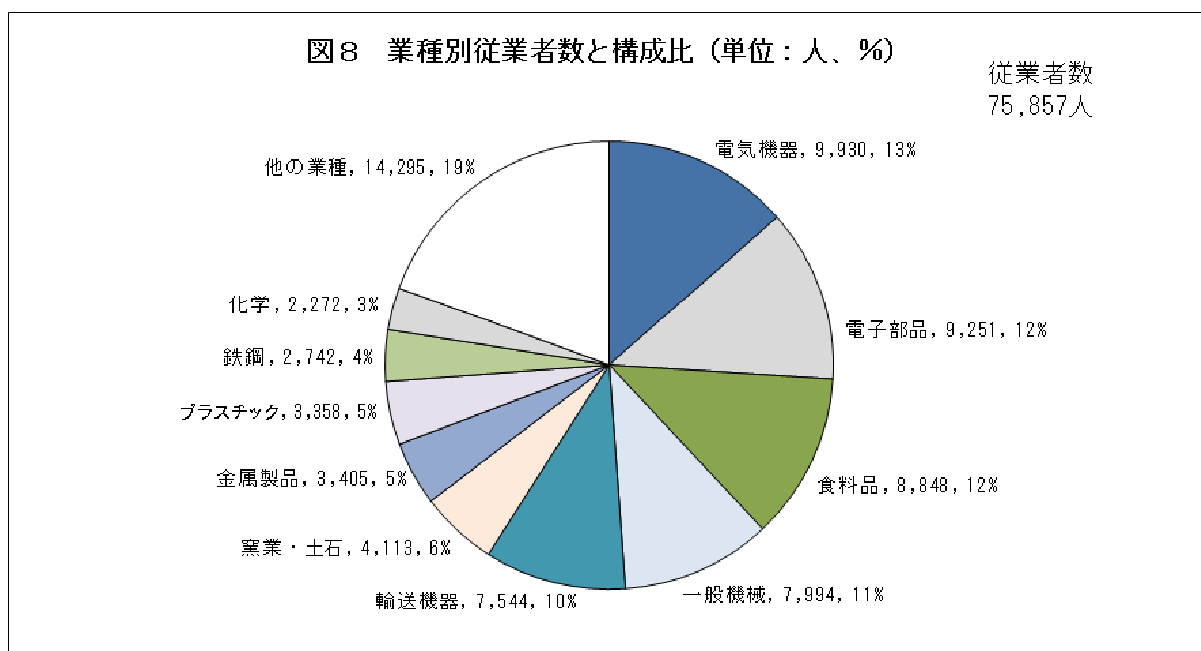
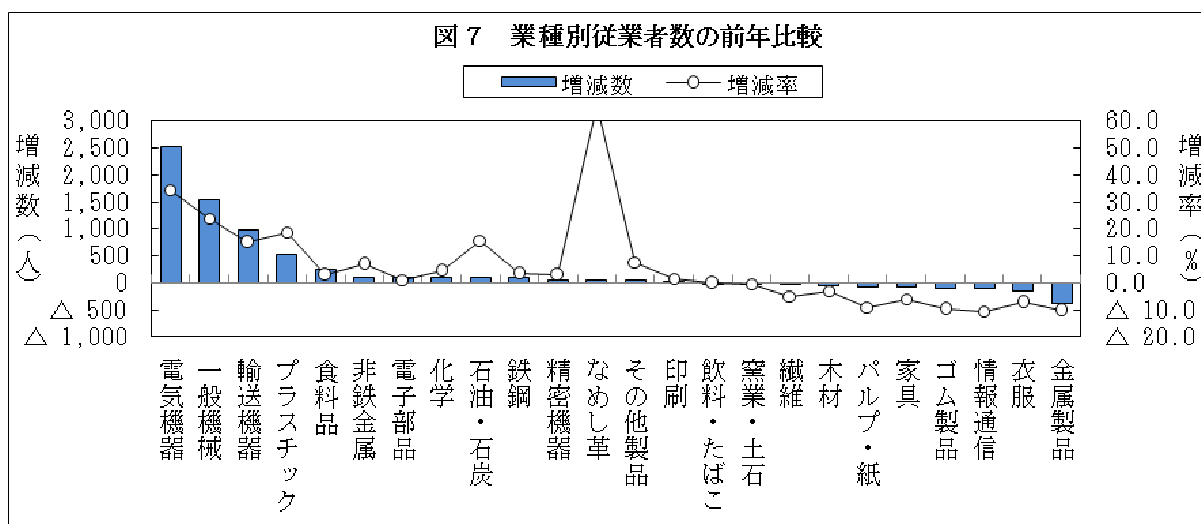


表6 業種別従業者数（従業者4人以上）

産業中分類	18年		19年			
	人	構成比 %	人	増減数 人	増減率 %	構成比 %
総数	70,479	100.0	75,857	5,378	7.6	100.0
09 食料品	8,604	12.2	8,848	244	2.8	11.7
10 飲料・たばこ	1,490	2.1	1,486	△ 4	△ 0.3	2.0
11 繊維	493	0.7	469	△ 24	△ 4.9	0.6
12 衣服	2,067	2.9	1,915	△ 152	△ 7.4	2.5
13 木材	2,044	2.9	1,978	△ 66	△ 3.2	2.6
14 家具	1,460	2.1	1,371	△ 89	△ 6.1	1.8
15 パルプ・紙	760	1.1	691	△ 69	△ 9.1	0.9
16 印刷	1,596	2.3	1,620	24	1.5	2.1
17 化学	2,181	3.1	2,272	91	4.2	3.0
18 石油・石炭	544	0.8	629	85	15.6	0.8
19 プラスチック	2,833	4.0	3,358	525	18.5	4.4
20 ゴム製品	1,045	1.5	943	△ 102	△ 9.8	1.2
21 なめし革	69	0.1	114	45	65.2	0.2
22 窯業・土石	4,136	5.9	4,113	△ 23	△ 0.6	5.4
23 鉄鋼	2,657	3.8	2,742	85	3.2	3.6
24 非鉄金属	1,426	2.0	1,523	97	6.8	2.0
25 金属製品	3,800	5.4	3,405	△ 395	△ 10.4	4.5
26 一般機械	6,474	9.2	7,994	1,520	23.5	10.5
27 電気機器	7,406	10.5	9,930	2,524	34.1	13.1
28 情報通信	1,032	1.5	923	△ 109	△ 10.6	1.2
29 電子部品	9,157	13.0	9,251	94	1.0	12.2
30 輸送機器	6,566	9.3	7,544	978	14.9	9.9
31 精密機器	2,050	2.9	2,105	55	2.7	2.8
32 その他製品	589	0.8	633	44	7.5	0.8

### (3) 従業者規模別状況

全従業者数 75,857 人の約 4 割強が中規模層に属している。従業者数の増減をみると、全ての規模層で前年より増加した。

・ 規模別構成比

- 小規模層（ 4 ～ 29人 ） 21.6 %（ 16,404 人 ）
- 中規模層（ 30 ～299人 ） 43.4 %（ 32,941 人 ）
- 大規模層（ 300人 以上 ） 34.9 %（ 26,512 人 ）

（表 7、図 9）

図9 従業者数の従業者規模別構成比の推移(従業者4人以上)

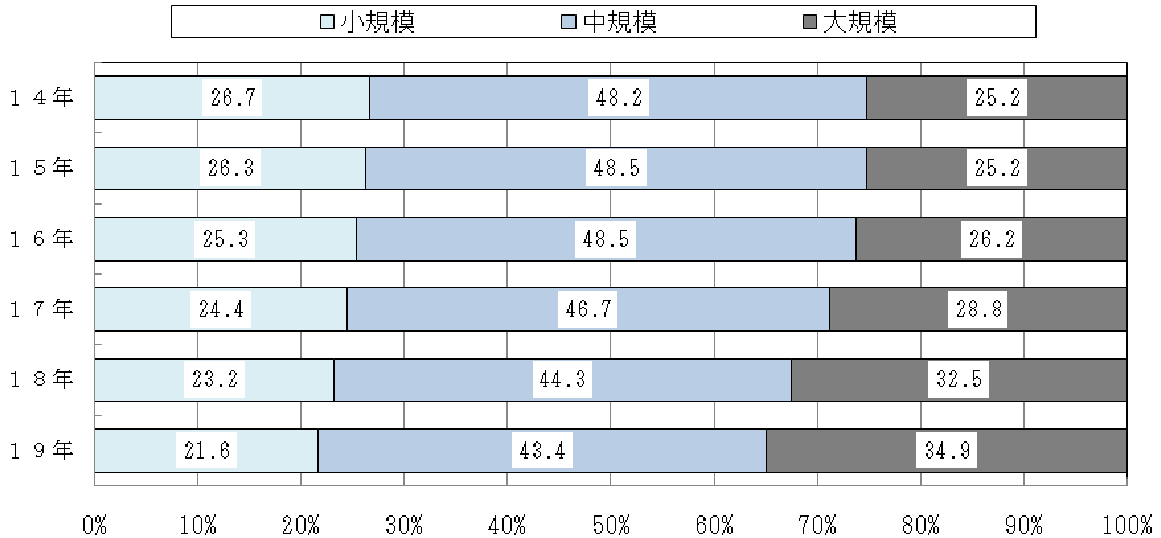


表7 従業者規模別従業者数 (従業者4人以上)

従業者規模別	18年	19年	増減数	増減率	構成比
	人	人			
総数	70,479	75,857	5,378	7.6	100.0
(小規模)	16,385	16,404	19	0.1	21.6
4～10人	4,496	4,543	47	1.0	6.0
10～19人	6,434	6,381	△53	△0.8	8.4
20～29人	5,455	5,480	25	0.5	7.2
(中規模)	31,219	32,941	1,722	5.5	43.4
30～49人	5,520	5,541	21	0.4	7.3
50～99人	10,757	10,639	△118	△1.1	14.0
100～199人	10,551	11,494	943	8.9	15.2
200～299人	4,391	5,267	876	19.9	6.9
(大規模)	22,875	26,512	3,637	15.9	34.9
300～499人	7,600	9,056	1,456	19.2	11.9
500～999人	7,911	6,993	△918	△11.6	9.2
1000人～	7,364	10,463	3,099	42.1	13.8

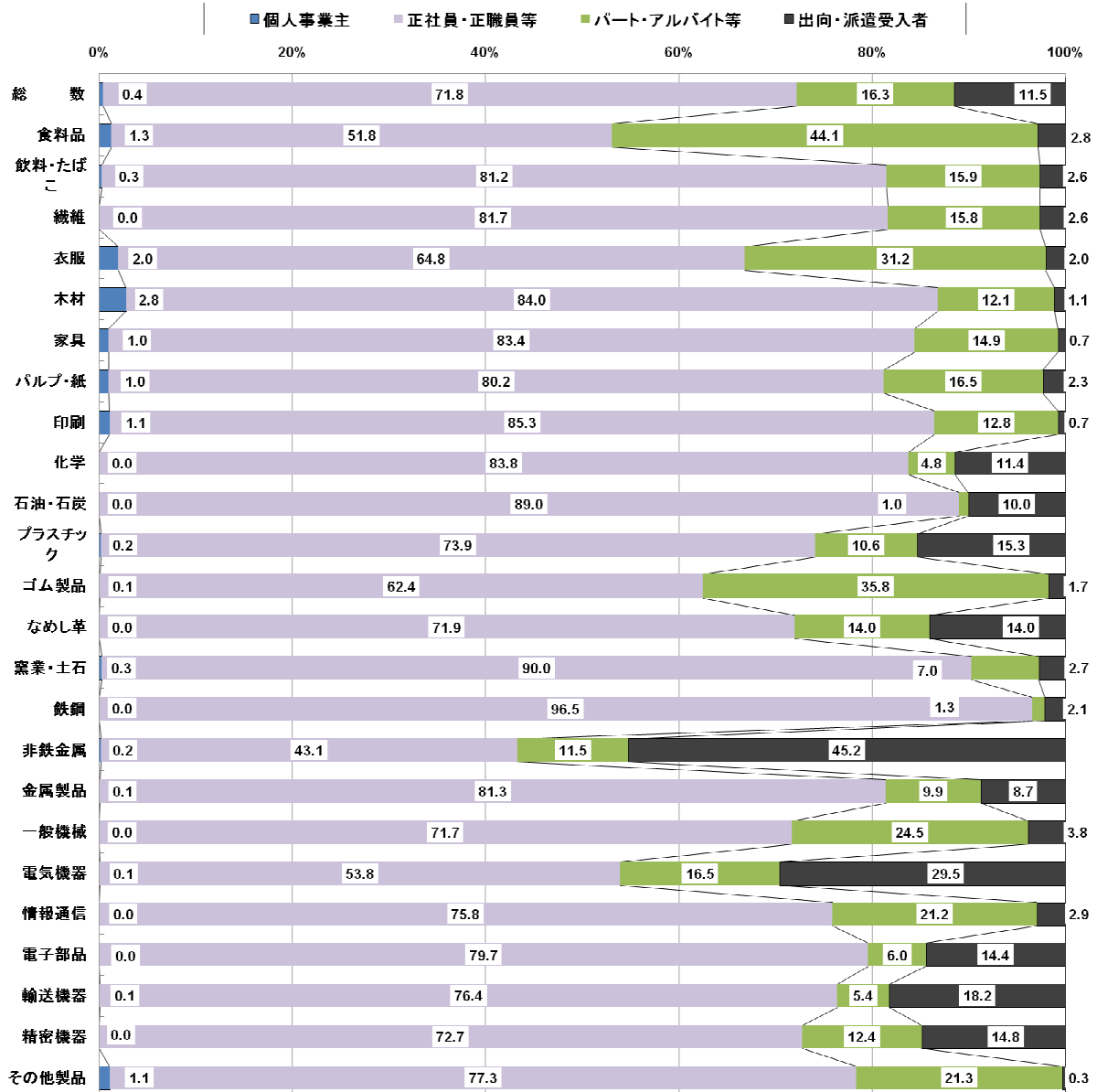
#### (4) 従業者形態別状況

全業種を構成比で見ると、個人事業主及び無給家族従業者（以下、個人事業主）が0.4%、正社員・正職員等が71.8%、パート・アルバイト等が16.3%、出向・派遣受入者が11.5%となっていて、前年と比べて、個人事業主と正社員・正職員等の割合が減り、出向・派遣受入者とパート・アルバイト等の割合が増えた。

男女ごとに構成比で見ると、男性では個人事業主が0.4%、正社員・正職員等が81.3%、パート・アルバイト等が6.4%、出向・派遣受入者が11.9%であり、女性では個人事業主が0.4%、正社員・正職員等が52.3%、パート・アルバイト等が36.8%、出向・派遣受入者が10.5%となっている。前年に比べ、男女ともに、個人事業主と正社員・職員等の割合が減少し、パート・アルバイト等と出向・派遣受入者の割合が増加している。

従業者の形態を業種別にみると、個人事業主の割合が最も高いのは、木材の2.8%で、以下同様に正社員・正職員等は鉄鋼の96.5%、パート・アルバイト等は食料品の44.1%、また、出向・派遣受入者では、非鉄金属の45.2%、電気機器の29.5%、輸送機器の18.2%等が高くなっている。

図10 産業中分類別従業者数の構成(従業者4人以上)

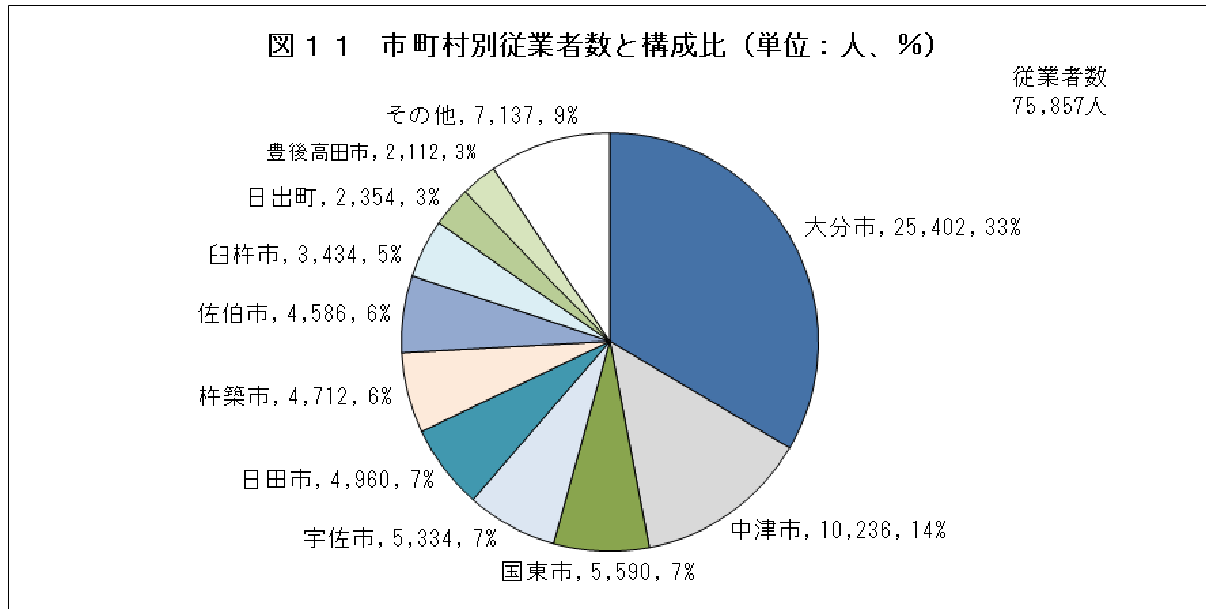


(図10、第2表)

### (5) 市町村別状況

前年に比べ増加したのは9市1町、減少したのは5市2町1村となった。

また、市町村別構成では、大分市、中津市、国東市の順に大きく、これらの3市で全体の半数強を占めている。(表3、図11)



### (6) 地区別状況

東部、中部、南部、北部地区で前年を上回り、豊肥、西部地区で前年を下回った。

(表3、図12)

